豊田工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	都市計画

科目基礎情報

科目番号	44203	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	環境・都市システム系教科書シリーズ「都市計画」_x000D_平田登基男、亀野辰三、宮腰和弘、武井幸久、内田一平共著　コロナ社（ISBN：978-4-339-05516-0）／適宜、プリントを配布する。_x000D_参考書：都市計画【第2版】川上光彦著　森北出版（ISBN：978-4-627-49612-5）		
担当教員	佐藤 雄哉		

到達目標

(ア)都市の成立ちと都市計画の役割を、その思想、特徴を変遷とともに理解する。
(イ)都市計画法や関連法規、上位計画の内容とその関係性を理解し、説明できる。
(ウ)都市計画基礎調査、都市計画区域、マスタープラン、各種部門計画等の関係性およびその内容を理解し、説明できる。
(エ)道路、鉄道、駅前広場、公園緑地、供給処理施設などの都市・交通施設の計画を理解し、具体例と関連付けて説明できる。
(オ)都市整備の手法としての区画整理、再開発など都市整備事業、制度としての地区計画制度を理解する。
(カ)都市の環境を保全、整備する公園緑地計画、防災計画、景観施策を理解する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	都市の成立ちと都市計画の役割を、その思想、特徴を変遷とともに理解し、現在の都市と関連付けて説明できる。また、都市の環境を保全、整備する公園緑地計画、防災計画、景観施策を理解し、実社会の実態と関連付けて説明できる。	都市の成立ちと都市計画の役割を、その思想、特徴を変遷とともに理解するとともに、都市の環境を保全、整備する公園緑地計画、防災計画、景観施策を理解する。	都市の成立ちと都市計画の役割を、その思想、特徴を変遷とともに理解しておらず、都市の環境を保全、整備する公園緑地計画、防災計画、景観施策を理解していない。
評価項目(イ)	都市計画法や関連法規、上位計画の内容とその関係性を理解し、現状の活用実態と関連付けて説明できるとともに、都市計画基礎調査、都市計画区域、マスタープラン、各種部門計画等の関係性およびその内容を理解し、現状の活用実態と関連付けて説明できる。	都市計画法や関連法規、上位計画の内容とその関係性を理解し、説明できるとともに、都市計画基礎調査、都市計画区域、マスタープラン、各種部門計画等の関係性およびその内容を理解し、説明できる。	都市計画法や関連法規、上位計画の内容とその関係性を理解しておらず、説明できず、都市計画基礎調査、都市計画区域、マスタープラン、各種部門計画等の関係性およびその内容を理解しておらず、説明できない。
評価項目(ウ)	道路、鉄道、駅前広場、公園緑地、供給処理施設などの都市・交通施設の計画を理解し、具体例と関連付けてその問題点も含めて説明できるとともに、都市整備の手法としての区画整理、再開発など都市整備事業、制度としての地区計画制度を理解し、現状の活用実態と関連付けて説明できる。	道路、鉄道、駅前広場、公園緑地、供給処理施設などの都市・交通施設の計画を理解し、具体例と関連付けて説明できるとともに、都市整備の手法としての区画整理、再開発など都市整備事業、制度としての地区計画制度を理解する。	道路、鉄道、駅前広場、公園緑地、供給処理施設などの都市・交通施設の計画を理解しておらず、具体例と関連付けて説明できず、都市整備の手法としての区画整理、再開発など都市整備事業、制度としての地区計画制度を理解していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本科目では、都市を理解しこれからの都市のあるべき姿を計画していく上で必要となる都市計画の基本的な知識の習得を目指します。都市は、大都市への一極集中や地域間格差、地方都市の衰退など様々な課題を抱えています。一方でコンパクトシティーやユニバーサルデザイン、地球温暖化に向けた都市環境対策など、これまでとは違った観点での都市施策も進められています。こうした、都市の課題や政策に取り組むためには、都市の歴史や思想、都市計画法や関連法規、都市計画事業策定手順、都市計画立案を支える情報技術などの基礎的知識が重要であると考えられます。これらを理解し取得していくことを目指します。
授業の進め方・方法	
注意点	継続的に授業内容の予習・復習を行うこと。適宜、授業内容に関する課題を決められた期日までに提出すること。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	都市計画論(都市計画の必要性とその意義、国土・都市・地域とは)	都市計画の必要性やその意義、国土・都市・地域の定義を説明できる。
		2週	都市計画の歴史や思想とその変遷（大ロンドン計画、田園都市論、近隣住区論など）	都市計画の歴史や思想とその変遷を説明できる。
		3週	都市計画の歴史や思想とその変遷（大ロンドン計画、田園都市論、近隣住区論など）	都市計画の歴史や思想とその変遷を説明できる。
		4週	都市計画法および関連法規（日本における都市計画制度とその関連法規、上位計画など）	都市計画法および関連法規を説明できる。
		5週	都市計画法および関連法規（日本における都市計画制度とその関連法規、上位計画など）	都市計画法および関連法規を説明できる。
		6週	都市計画の策定（都市計画立案のためのプロセスや都市計画区域の考え方、市民参加のまちづくりなど）	都市計画の策定について説明できる。
		7週	都市計画の策定（都市計画立案のためのプロセスや都市計画区域の考え方、市民参加のまちづくりなど）	都市計画の策定について説明できる。
		8週	土地利用計画（土地利用の意義や制度、諸外国の計画制度など）	土地利用計画を理解している。
	4thQ	9週	土地利用計画（土地利用の意義や制度、諸外国の計画制度など）	土地利用計画を理解し、説明できる。
		10週	土地利用計画（土地利用の意義や制度、諸外国の計画制度など）	土地利用計画を理解し、説明できる。

		11週	都市交通と都市交通施設の計画（都市交通及び都市交通施設の基礎的事項）	都市交通と都市交通施設の計画を理解している。
		12週	都市の整備手法（区画整理や再開発など都市の整備手法）	都市の整備手法を理解し、説明できる。
		13週	都市の整備手法（区画整理や再開発など都市の整備手法）	都市の整備手法を理解し、説明できる。
		14週	供給及び処理計画（供給処理施設の基礎的事項）	都市の供給及び処理計画について説明できる。
		15週	都市の環境計画（公園緑地、防災、景観など）	都市の環境計画について理解している。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	30	50	20	100
専門的能力	30	50	20	100